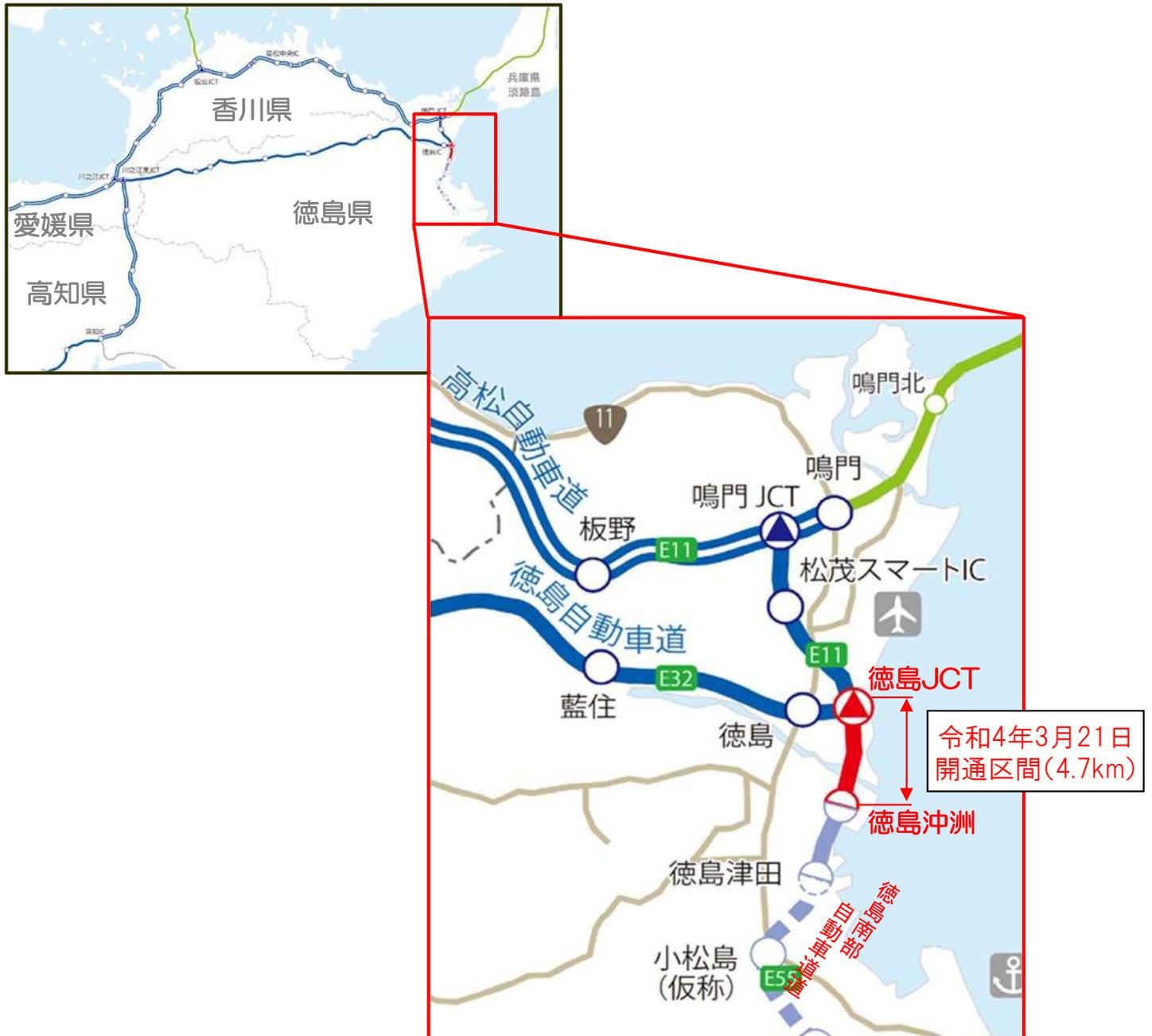


- 四国横断自動車道は、阿南市を起点に徳島市、高松市、四国中央市、高知市、四万十市を経て、大洲市に至る瀬戸内海側と太平洋側を結ぶ約441kmの主要幹線で、本四架橋と連携して本州・四国間の一体化を図り、瀬戸内および太平洋側の産業経済の発展に重要な役割を果たすことが期待されています。
- E55徳島南部自動車道 徳島JCT～徳島沖洲IC間の開通により、徳島南部における地域間交流の強化、沿線道路の渋滞緩和、災害時の代替機能の強化など地域の発展が期待されます。

- 路線名：四国横断自動車道 阿南四万十線
- 道路名：E55 徳島南部自動車道 かわうちょう とみひさ
- 区間：徳島JCT(徳島県徳島市川内町富久)～徳島沖洲IC(徳島県徳島市東沖洲) ひがしおきのす
- 延長：4.7km
- 開通日時：令和4年3月21日(月曜)16時

## ◆今回開通区間の位置図



- 平成27年3月の徳島IC～鳴門JCT間の開通により、並行する国道11号(徳島IC～鳴門JCT間)及び県道徳島引田線において渋滞の緩和が見られました。
- 徳島JCT～徳島沖洲IC間の開通により、周辺道路の更なる渋滞緩和が期待されます。

(位置図)

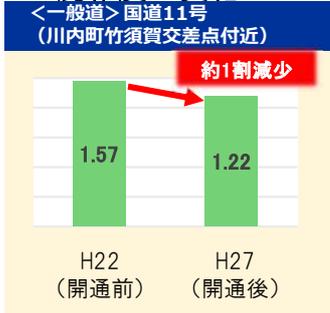


▼ A-A断面交通量



出典:道路交通センサス(開通前:H22、開通後H27)

▼ 混雑度の変化



出典:道路交通センサス(開通前:H22、開通後H27)  
混雑度:交通量(台/12h)/交通容量(台/12h)

▼ 最大渋滞長



出典:NEXCO西日本 調べ(開通前 H27.3、開通後 H27.4)  
混雑度:交通量(台/12h)/交通容量(台/12h)

- 今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)に並行する国道11号及び国道55号は、阿南市から鳴門市間の主要幹線道路であり、慢性的に渋滞が発生しています。
- 特に主要渋滞箇所となっている徳島本町交差点付近においては、徳島JCT～徳島沖洲ICの開通により、更なる渋滞緩和が期待されます。

▼ 鳴門ICと国道55号を起点・終点とした整備前後のルート



※徳島河川国道事務所HP 徳島地区渋滞対策協議会説明資料(H27.9)より転記  
主要渋滞箇所の設定は、H25.11に実施

阿波しらさぎ大橋開通後の交通量 (吉野川渡河部)



阿波しらさぎ大橋開通後の混雑度 (徳島本町交差点)



\*混雑度:交通量(台/12h)/交通容量(台/12h) 出典:交通センサス (H22及びH27)

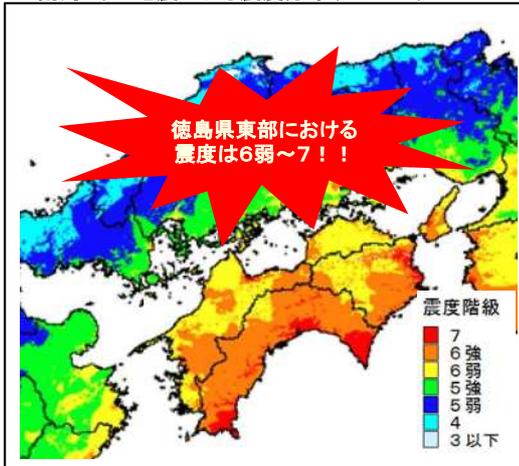
- 南海トラフ地震による最大クラスの津波発生時には、広範囲で浸水被害が予測されています。
- 今回開通区間は最大津波浸水深より高く、緊急輸送路としての機能が期待されます。
- また、徳島沖洲IC～阿南IC(仮称)(新直轄区間)の整備により、高速道路ネットワークとして更なる機能向上が期待されます。

### ▼南海トラフ地震の発生確率(H30. 1)

長期評価で予想した地震規模(マグニチュード)	地震発生確率		
	10年以内	30年以内	50年以内
M8～M9クラス	30%程度	70%-80%	90%程度もしくはそれ以上

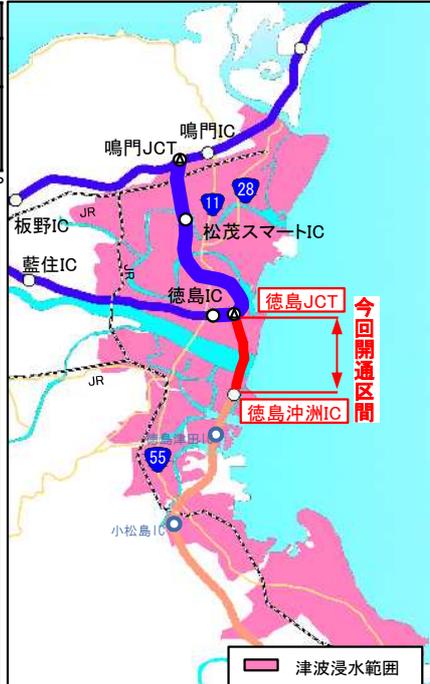
出典:地震調査研究推進本部HP

### ▼南海トラフ地震による震度分布(H25. 5)



出典:中央防災会議HP

### ▼徳島県東部の津波浸水予測範囲

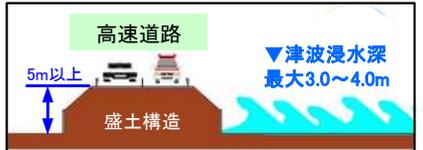


出典:徳島県HP

### ▼高速道路と津波浸水深のイメージ図

計画区間の予測  
震度6弱～7 最大津波浸水深3.0～4.0m

緊急輸送路として機能



■広い範囲が浸水する予想となっているが、当区間は盛土構造のため、津波に対する防波堤となり被害範囲が減少するものと考えています。

■高速道路ができることにより、防波堤としての機能も加わるようになります。  
【徳島県としまゼロ作戦課ヒアリング】

■南海トラフ地震発生時等、緊急消防援助隊県外応援部隊が市内へ進入する際のルート確保として、大きな期待ができます。  
【徳島市消防局ヒアリング】

- 既開通区間(徳島IC～鳴門JCT)では、沿線市町と連携し高速道路区域を活用した津波避難場所を11か所整備しました。
- 今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)についても、新たに3か所整備しています。

### ▼高速道路沿線部における津波避難困難地域及び津波避難場所整備箇所



出典:避難困難地域(津波避難計画(徳島市、松茂町、鳴門市)、地域防災計画(北島町))

### ▼津波避難場所(盛土タイプの完成イメージ)



■津波避難場所が整備され、地域住民からは「今まで周囲に避難場所がなかったのが不安だったが、万が一の備えができ安心している」という声が寄せられました。また、地域住民の防災意識も向上し、自主的な防災訓練も計画され、町の防災の更なる強化を進めていきたいと考えています。  
【北島町役場ヒアリング】

■災害発生時に緊急車両や災害復旧車両などが出入りできる緊急連絡路としての機能や、津波避難困難地域で暮らす方々にとっての避難場所としての機能が考えられます。高速道路の防災面での期待は高いです。  
【徳島県としまゼロ作戦課ヒアリング】

○今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)及び新直轄区間(徳島沖洲IC～阿南IC(仮称))の整備により、第三次医療機関への搬送時間の短縮、搬送時の振動や揺れの緩和による患者への負担軽減も期待されています。

## ▼徳島ICから「徳島赤十字病院」までの搬送ルート



■一般道において渋滞混雑時や浸水等の有事が発生し通行できない場合は、高速道路が迂回路としての機能を期待されます。

■ブレーキ等で嘔吐する患者もいるが、高速道路では、交差点がなく、走行性もいいので、患者への負担が軽減できます。  
 【徳島市消防局ヒアリング】

### 第三次救急医療機関

出典：徳島地区渋滞対策協議会  
 渋滞発生時間帯回避マップより



## ▼徳島ICから徳島赤十字病院までの搬送時間



(分)

※ 一般道は徳島市消防局ヒアリング結果  
 ※ 高速道路は70km/hで算出

○マリンピア沖洲産業団地と直結する徳島JCT～徳島沖洲ICの整備により、県内及び京阪神方面への物流輸送における、速達性や定時性が向上することで、県内の産業活動の活性化が期待されます。



運送業、製造業等、様々な企業が物流活動を実施

## ▼マリンピア沖洲産業団地

マリンピア沖洲産業団地は、徳島県における産業、流通の拠点として大きな役割を担っています。徳島沖洲ICが整備されることで、物流の効率化が期待できます。

会員数：131社 従業員数2,912名（R3年7月）

- マリンピア沖洲産業団地は徳島県における物流拠点となっており、高速道路が整備されることを期待して、多種多様な企業が進出しています。空物件ができてもすぐに申請があり、敷地は常に100%埋まっている状態です。
- グルメとレジャーの複合施設もあり、魅力向上のためのイベントも企画しています。徳島沖洲ICの新設により、本産業団地がさらに活気づいていくことを期待しています。

【マリンピア沖洲産業団地協会へのヒアリング】

出典：徳島県マリンピア沖洲産業団地協議会HP



- 今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)は、「徳島小松島港沖洲(外)地区」と直結。フェリーターミナルの移転もあり、北九州や東京方面への輸送に貢献し、地域産業の活性化が期待されます。
- 徳島小松島港沖洲(外)地区は、耐震強化岸壁を有する緊急時の拠点港に指定。大規模地震発生時には、拠点港と一体となった緊急輸送ルートとして機能することから、迅速な救援・復旧活動が期待されます。



- 徳島沖洲ICが開通後は、マリンピア沖洲と直結され、より迅速で円滑な輸送が可能となります。
- 徳島県とフェリー会社は「船舶による災害時の輸送等に関する基本協定書」を締結しており、高速道路と一体となった救援物資等輸送への活用が期待されます。

【徳島県運輸政策課ヒアリング】



### 複合一貫輸送ターミナル

北九州～徳島～東京  
フェリー貨物航路:12便/週

和歌山へ  
フェリー貨物航路:8往復/日

釜山(韓国)へ  
コンテナ定期航路:3便/週



○今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)を含む高速道路整備により、徳島県南部における農林水産品に関して、京阪神地域への輸送時間の短縮等が図られることにより、農林水産業の活性化が期待されます。

## ■生しいたけと鱧の産地図



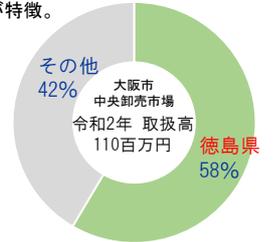
出典：徳島県HP

## ■生しいたけ

生産量は徳島県が日本一。肉厚で香りが高いのが特徴。  
主な産地：小松島市、徳島市、神山町



出典：大阪市中央卸売市場HP

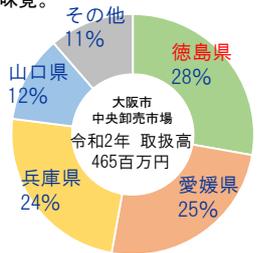


## ■鱧(はも)

漁獲量・漁獲金額とも徳島県がトップクラス。  
特に関西で根強い人気があり、欠かせない夏の味覚。  
特に「はもの落とし」(湯引き)が定番。  
主な産地：阿南市、徳島市、牟岐町、小松島市



出典：大阪市中央卸売市場HP



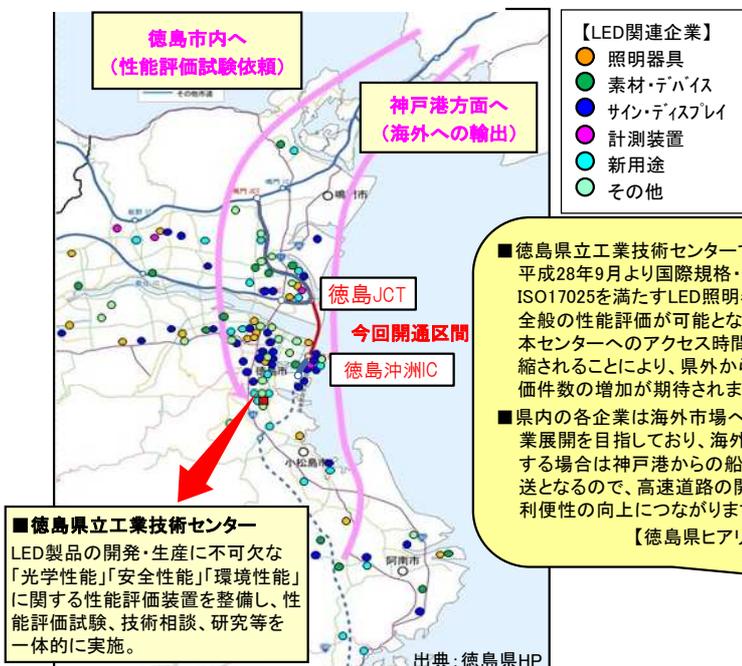
- 徳島県の農林水産物は、関西方面へのシェアがかなり多く、輸送の際、高速道路により時間短縮が図ることができれば、コスト縮減や新鮮な野菜を短時間で関西市場に運びやすくなるメリットがあることから、高速道路の開通には期待しています。
- 生しいたけは傷みやすい農産物であるので、停車、発進時の振動が低減されることになれば、市場で高値がつくことに結びつきます。
- はもは、生きたまま流通しているのので、高速道路により関西圏へ新鮮なものを輸送できるメリットがあります。

【徳島県ヒアリング】



- 徳島県は平成17年から「LEDバレイ構想」を策定し、技術者育成や先端技術での研究開発拠点の形成に取り組んでいます。
- 県内にはLED関連企業が約150社立地する。徳島県立工業技術センターではLED製品の性能評価試験装置が整備され、県内外から性能評価試験が依頼されています。
- 徳島JCT～徳島沖洲ICの整備により、徳島県立工業技術センターへのアクセス時間やLED関連企業からの製品輸送時間の短縮に繋がり、企業活動の一層の活性化が期待されます。

## ▼LED関連企業の分布状況

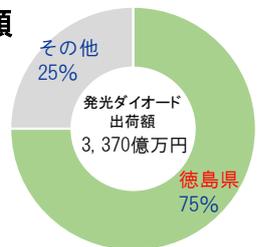


出典：徳島県HP

## ▼発光ダイオード生産額

\*統計はH31年単年

出典：経済産業省HP  
「工業統計調査」



## ▼LEDバレイ構想ワールドステージ行動計画

徳島県は平成17年に「LEDバレイ構想」を策定し、平成27年からは「ワールドステージ戦略」、「開発・生産戦略」、「ブランド戦略」、「販売戦略」の展開により、「LEDバレイ徳島」の世界展開を目指しています。



出典：LEDバレイ構想ワールドステージ行動計画



- 県南地域は自然や観光資源が豊富であるが、高速道路が未整備であり、徳島市内における国道の慢性的な渋滞が発生しています。
- 今回開通区間(徳島JCT～徳島沖洲IC)を含む高速道路整備によるアクセス性の向上により、マリンレジャーなど、県南地域における観光活動の活性化が期待されます。

## ▼徳島県の主要観光地



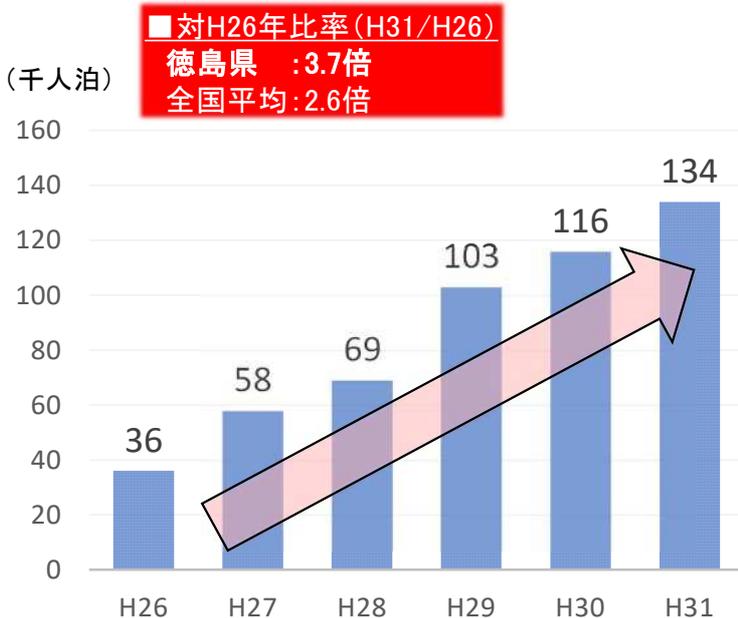
## ▼県南部の観光資源

- ・海を使用した教育旅行(中高生対象)
- ・室戸阿南海岸国定公園近郊のウミガメの産卵地
- ・マリンレジャースポット  
(サーフィン・シーカヤック・スキューバダイビング)

室戸阿南海岸国定公園

マリンレジャースポット

## ▼徳島県の外国人延べ宿泊者数



出典: 「宿泊旅行統計調査」観光庁HP

■徳島県南部方面へ高速道路を延伸することで、新たな周遊ルートが形成されれば、近年増えてきているインバウンドも含めて、県南への観光誘致に大きなメリットがあると期待しています。

■県南地域では、関西や関東などの県外の中・高校生を対象とした教育旅行で積極的に受け入れる動きがあり、高速道路の延伸で、さらなる受け入れ人数の増加にも期待しています。

【観光協会ヒアリング】



### 【教育旅行とは】

漁師さんの家に泊まるなど、地域の昔からの文化・歴史を見て体験するもの。  
 徳島県では、少数ではあるが台湾等海外からも訪れる。